



取扱説明書

注意(ちゅうい)

保護者の方へ 必ずお読みください

●取扱説明書を必ずお読みください。

●画像と商品とは多少異なりますので、ご了承ください。

©吾峠呼世晴／集英社・アニプレックス・ufotable

札の種類と説明

取り札 …24枚



太陽マーク:ゲーム2、ゲーム4で使用する数値
 合い札(読み札と取り札が2枚1組になっている)

読み札 …24枚



特効効果(ゲーム1で使用)

吉札 …4枚



ゲーム2で使用する数値

凶札 …4枚



ゲーム1 札取りバトル

(プレイ人数:3人~)

読み札で読まれた「説明」の答えを場にある取り札の中から探そう!
 早く見つけて札を取った人が獲得できるぞ! 一番多く獲得した人の勝利!!

<ゲームの準備>

①全ての読み札24枚・取り札24枚を用意します。

このゲームでは吉札・凶札は使いません。

②全員でじゃんけんをして、勝った人が「親(札を読み上げる人)」になります。その他の人は「子(場の札を取る人)」になります。

※ゲーム終了まで親と子は変わりません。

③親は、全ての「読み札」を裏向きのままよく混ぜ、山にして手元に置きます。

④全ての「取り札」を表にして、札と札が重ならないように場に広げます。



<ゲームスタート>

①親は、他の人に見えないように「読み札」の山の一番上から札を1枚めくり、その札に書かれている「説明」を全員に聞こえるように読み上げます。

②子は、読まれた「説明」の答えを場にある「取り札」の中から探し、素早くその札を取ります。答えを見比べ、合っていれば「合い札」で正解です。得点として「合い札」がもらえます。間違っている場合は

「お手つき」で、この回はもう取れず、次の一回一回休みになります。全員お手つきした場合は「取り札」と「読み札」は捨て札になります。

※「説明」を読んでもわからない場合は、「答え」を読んであげましょう。

③ゲームスタート①から繰り返しプレイを進めます。

獲得した読み札に特殊効果がある場合…

獲得した「読み札」に特殊効果が書かれていれば、次の回にその効果が有効になります。



読み札と取り札を見比べよう!



正解したら2枚とも獲得!

<ゲームの終了と勝敗>

場の「取り札」が残り2枚になったら、次回が最終ゲームになります。

次回「取り札」を獲得した人が、ボーナスとして場にある最後の1枚をもらうことができます。

場に札が無くなったゲーム終了です。獲得した札を一番多く持っている人の勝利です。

ゲーム2 鬼狩り

(プレイ人数:2人または1人)

協力プレイで敵・凶札の数値を超えろ!! 味方の数値の合計数でバトルだ!

<ゲームの準備> ~2人用の場合~

①左下に太陽マークがある取り札14枚と凶札4枚を用意します。(他の札は使用しません)



②凶札は表向きにして、上から2・3・4・5の順番で山にして置きます。

③全ての「取り札」を裏向きのままよく混ぜ、山にして置きます。

④2人とも「取り札」の山の上から3枚めくり、手札にします。

<ゲームスタート> ~最初は「凶札:2」とバトルだ!! ~

①2人とも手札の中から戦う札を1枚選んで、「せーの」のかけ声と共に札を場に出します。※相手には何の札を出すかなどは、相談しないでください。

②2人が場に出した札の数値を足し、凶札の数値と見比べます。

2人の合計数値が多ければ勝ちです。合計数が同点・少ない場合は負けで、ゲーム終了です。

③勝った場合は出した味方の札と倒した凶札を捨て札にし、次の凶札とバトルです。

④2人とも「取り札」の山から札をめくり、手札を3枚にします。

ゲームスタート①から繰り返しプレイを進めます。

⑤最後の凶札(鬼舞辻無惨)だけは2連続バトルです。1戦目に勝ったらカードを横向きにし、2戦目を行います。

<ゲームの終了と勝敗> 最後の凶札の2戦目に勝利すれば完全勝利、鬼狩り成功です。

1人で遊ぶ場合は、自分の札と取り札の山からめくった札の数値を合計するぞ!

1人で遊ぶ場合:遊び方は2人用と同じですが、「<ゲームスタート>の①」が以下のように変わります。

①自分の手札の中から1枚を選び場に出します。さらに裏向きにしてある「取り札」の山の上から、札を1枚めくって場に出し、出した2枚の数値を足して凶札と戦います。

※1人用遊びでは、手札から1度に2枚出せるスペシャル攻撃が1ゲーム中に1度だけ行えます。合計3枚の札で凶札と戦います。



ゲーム3 札合わせ

(プレイ人数：2人～6人)

場に出ている札と「合い札」になる札を手札から出そう！早く手札を無くした人の勝利！！

<ゲームの準備>

①全ての札（読み札24枚・取り札24枚・吉札4枚・凶札4枚）56枚を用意します。

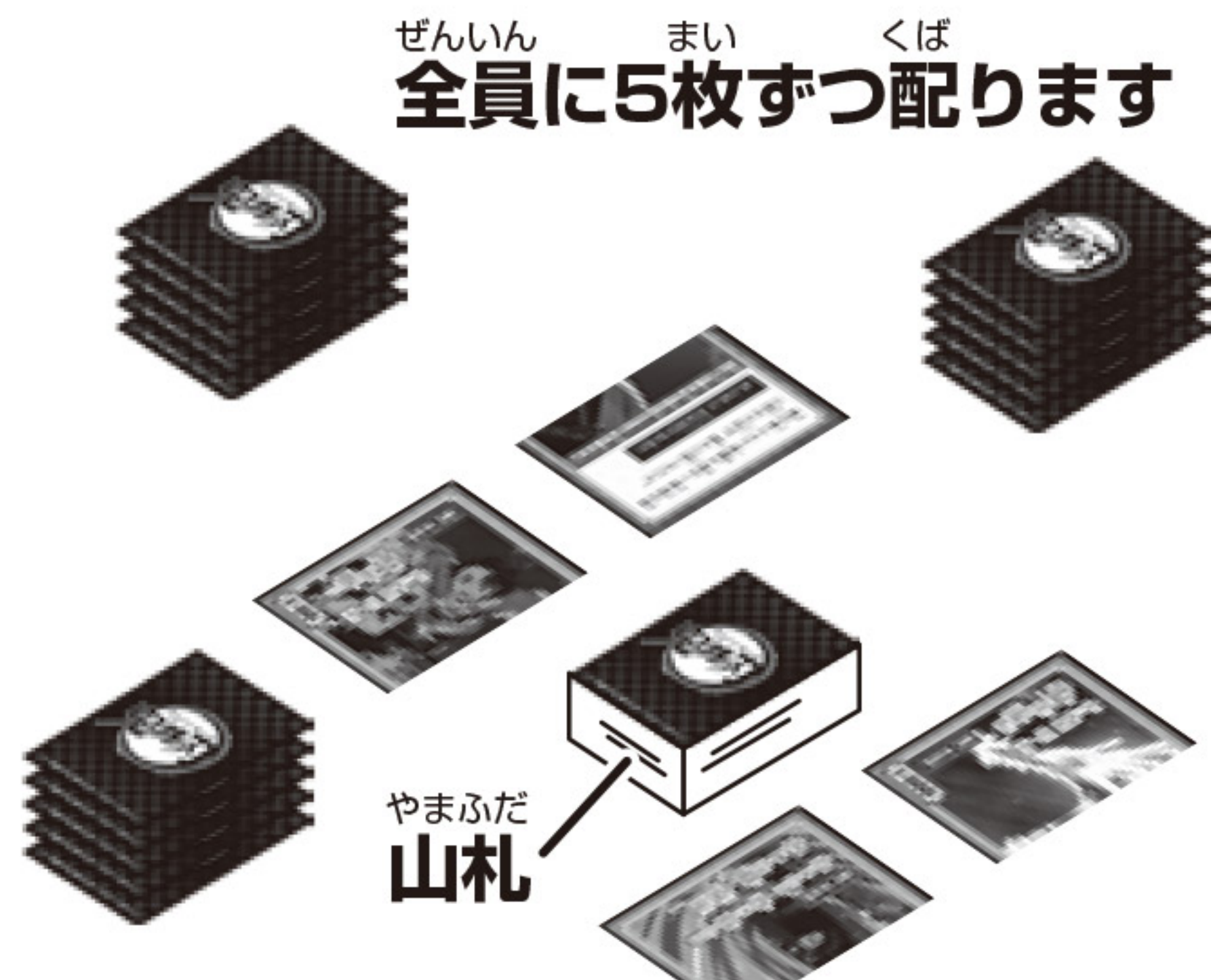
②全員でジャンケンをして勝った人が親になります。親は全ての札を裏向きのままよく混ぜ、全員に5枚ずつ配ります。

さらに、4枚をめくって場に表向きにして置きます。残りは山札として裏向きのまま場の中央に置きます。

※場の札で「合い札」になった場合は、その「合い札」を捨て札にし、山札からめくって場の札が4枚になるようにします。

※場に出た場合は山札に戻し、よく切って再度山札をめくり、場の札が4枚になるようにします。

③配られた5枚の札を他の人に見られないように手に持ちます。④親の左隣の人から順番に時計回りにゲームを進めます。



<ゲームスタート>

①自分の番がきたら手札の中に、場に表向きになっている札と「合い札」になる札があるかどうかを見比べます。

②場の札と「合い札」になる手札があれば、その札を場に出し2枚1組で捨て札にします。自分の番はそこで終わりです。次の人に順番が移ります。

③場の札と「合い札」になる札が無い場合は、手札の中からすきな札を1枚表にして場に出し、山から1枚めくって手札に加えます。

ここで場に出せる「合い札」があれば、場に出すことができます。無ければ自分の番はそこで終わりです。次の人に順番が移ります。

※手札の中で「合い札」になっても何もおこりません。1枚ずつ場に出して、場で「合い札」をつくりましょう。

吉札と凶札は特別な札です。吉札：吉札同士ならどの札とも「合い札」になります。凶札：全員にじゃまをする札です。

●凶札は「合い札」がなくても1枚で場に出せます。（その後山札をめくる必要はありません）

●凶札を場に出した人以外は山札から1枚めくって手札に加えなくてはなりません。（凶札を出した人の左隣から時計回りに）

●場に出した凶札は、捨て札とは別の場所によけて置きます。

④ゲームスタート①から繰り返しプレイします。

ゲームの途中で山札が無くなった場合は、捨て札を集めてよく混ぜ、新たに山札をつくり、場に表向きの札が無くなった場合も、山札から札の追加は行わずプレイヤーの手札から場に出しゲームを続行します。

<ゲームの終了と勝敗> 一番早く手札を無くした人(最後の手札を「合い札」として場に出せた人)の勝利です。

ゲーム4 鬼めぐり

(プレイ人数：2人～)

凶札をめくると獲得していた札を全没収！一番多く札を獲得した人の勝利！！

<ゲームの準備>

①全ての札（読み札24枚・取り札24枚・吉札4枚・凶札4枚）56枚を用意します。

②全員でジャンケンをして勝った人が親になります。親は全ての札を裏向きのままよく混ぜ、半分にして山を2つ作り、裏向きのまま場の中央に置きます。

③親の左隣の人から順番に時計回りにゲームを進めます。

<ゲームスタート>

①自分の番がきたら、すきな方の山の上から札を1枚めくりします。

②「取り札」か「読み札」が出た場合は、そのまま表向きで場に置きます。

※吉札が出た場合は、場にある表向きの札を全てもらえます。

※凶札が出た場合は、持っている全ての札を表向きで場に出します。

※太陽マークがある場合、一番多くの札を持っている人から、数値分の札をもらえます。

(数値分の札を持っている人がいない場合は何ももらえません。一番多くの札を持っている人が複数いる場合、その人たちからそれぞれ数値分の札をもらえます。)

※出した吉札、凶札は別の場所によけておいてください。

③次の人に順番が移ります。ゲームスタート①から繰り返しプレイを進めます。

<ゲームの終了と勝敗> 場にある2つの山が全てなくなったら終了です。獲得した札が一番多く持っている人の勝利です。



2つの山のすきな方をめくろう！

太陽マークはボーナス！

ゲーム5 記憶くらべ

(プレイ人数：2人～)

裏になっている札をめくって「合い札」を探そう！一番多く札を獲得した人の勝利！！

<ゲームの準備>

①全ての読み札24枚・取り札24枚と吉札2枚・凶札2枚を用意します。（吉札・凶札であれば、どの札を使ってもかまいません）

②全ての札を裏向きのままよく混ぜ、場に裏向きのまま置きます。

③ジャンケンで負けた人から順番に時計回りにゲームを進めます。

<ゲームスタート>

①自分の番がきたら、場にある札を2枚めくりします。

②「合い札」になった場合は、めくった2枚の札をもらえます。続けてもう1度自分の番になります。「合い札」にならなかった場合は、めくった2枚を裏向きにもどして次の人に順番が移ります。

③吉札が出た場合は、そのままもらえます。吉札はめくった枚数にはふくまれません、もう1枚めくれます。

さらに、一番多く札を持っている人から「合い札」の1組（2枚）をもらえます。

※誰も札を持っていない場合は、もらえません。※一番多く札を持っている人が複数いる場合、その人たちから1組ずつもらえます。

④凶札が出た場合は、捨て札にします。さらに、先にめくっていた札があれば裏向きにして、場の全ての札をシャッフルし、次の人に順番が移ります。

⑤ゲームスタート①から繰り返しプレイします。

<ゲームの終了と勝敗> 場に札が無くなったらゲーム終了です。獲得した札が一番多く持っている人の勝利です。



裏にして場に広げよう！

2枚めくって「合い札」を完成させよう！

難しい時は「合い札」の数を減らしてやってみよう！